

苫小牧市史編さん方針等の策定についての答申概要版

答申書構成

前文、答申書（新「苫小牧市史」編さん方針、目次大綱、執筆要領）

前 文

市制75周年を迎える令和5（2023年）年度を目途に、新たに発見された資料や研究成果を加えた新たな市史を刊行するために、平成31年3月29日に諮問を受けた後、5回に渡る審議を行い先史から現代までの様々な側面での叙述方法について協議を重ねた結果を答申する。

答 申

I 新「苫小牧市史」編さん方針

別添のとおりとする。

歴史の評価が定まっていない近現代等については、表現の仕方やまとめ方を工夫すること。先住民族であるアイヌ民族と女性史等の視点を積極的に盛り込むこと。

II 目次大綱

別添のとおりとする。

資料収集した内容等により目次大綱の内容は、柔軟に対応すること。

III 執筆要領

別添のとおりとする。

市史を執筆するうえでの基本事項を示した。

<概要>

新「苫小牧市史」編さん方針

1 趣旨

従前の苫小牧市史の発刊経緯、その後の内外の社会情勢の変化や苫小牧市の変化、先住民族としてのアイヌ民族の立場や近年の女性史を盛り込み後世へ伝えていくことがこれからのまちづくりを進めるうえで意義があり重要である。

- 2 基本方針
 - (1) 叙述する期間（先史から平成の終わりまで）
 - (2) 最新の研究成果や、街並みの変化などについて盛り込む
 - (3) 分かりやすい文章、写真や図、イラストなどを効果的に活用する
 - (4) 失われつつある貴重な資料を収集し、調査研究を進める
 - (5) ホームページ等を用いて情報を発信し、市民からの情報提供を促す
 - (6) 資料の適切な保存、活用方法を検討する

- 3 新市史の名称
「新苦小牧市史」

- 4 新市史の刊行時期
令和5年度を目途に刊行

- 5 組織及び体制
 - (1) 苦小牧市史編さん審議会 (2) 苦小牧市史編集委員会 (3) 事務局

- 6 新市史の構成及び体裁について
B5版2段縦書。本編（通史）（1, 200ページ）、資料編、年表編

- 7 頒布方法
中央図書館で販売予定。市公式ホームページでも公開する。

- 8 刊行計画
令和5年の刊行に向けた作業スケジュール

目次大綱

3編に分けて主な叙述項目を掲載

第1編 先史時代、第2編 中世～近世、第3編 近世～現代

執筆要領

各分野に分かれて複数人が原稿を執筆することから、要領に沿ってまとまりのある市史を叙述するための基本事項を定めた。